

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	スポーツフィールド整備事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	10	06	04	01	64
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課				
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	寺門 宏晋				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	屋外スポーツの利用者	意図	市民が気軽に、快適で安全に利用できる多目的運動場を整備する。
事業内容	平成30年4月に供用開始された流山スポーツフィールドを適切に管理するとともに、おおたかの森スポーツフィールドの拡張整備に向けて、設計・開発手続きを進めていく。			
事業開始から現在までの状況変化	旧新川耕地スポーツフィールドを移転して規模を拡大、機能を充実させたスポーツフィールドを整備することとなった。平成28年度には実施設計と開発手続きを行い、建設に着手し、平成30年4月から供用開始した。その後は、おおたかの森スポーツフィールドの拡張整備の課題に取り組んでいる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	おおたかの森スポーツフィールド設計業務進捗率			100	%	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	おおたかの森スポーツフィールドの設計業務委託が完了した。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	736,459,290	459,464,692	14,923,896
事業費(b)(円)	734,125,190	457,182,612	10,968,696
うち一般財源	734,125,190	229,082,612	10,968,696
職員給与費(c)(円)	2,334,100	2,282,080	3,955,200
人役・職員(人)	0.34	0.34	0.60
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	管理業務委託先と連携を取り、利用者が使いやすいフィールドとして管理する。	③取組における課題(Check)	おおたかの森スポーツフィールドを拡張整備し、令和2年4月から供用開始する。
②H30に実施した取組(Do)	流山スポーツフィールドの法面保護工事を追加し、降雨の際も安全なスポーツフィールドとした。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	おおたかの森スポーツフィールドの拡張整備工事を進める。